

# 瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

令和 8 年 3 月 26 日

申請者の住所及び氏名(法人にあっては所在地、名称、代表者名)

山口県宇部市大字小串1978番地の96

U B E 株式会社

取締役社長 西田 祐樹

申請代理者

山口県宇部市大字小串1978の10

U B E 株式会社

宇部ケミカル工場

執行役員工場長 原本 充



# 1. 許可申請の概要

## (1) 工場の概要

工場又は事業場の名称	UBE株式会社 宇部ケミカル工場 西地区					
所在地	山口県宇部市大字小串1978の6					
業種	化学工業	従業員数	567人			
主要製品名	カプロラクタム、ポリアミド系樹脂、硫安					
特定施設 (番号・名称・基数)	番号	名称	変更前	廃止	当該申請	変更後
	27-ヌ	廃ガス洗浄施設	2基			2基
	27-ル	湿式集じん施設	1基			1基
	33-イ	縮合反応施設	63基			63基
	33-ハ	遠心分離機	13基			13基
	33-ニ	静置分離器	12基			12基
	33-リ	廃ガス洗浄施設	27基			27基
	33-ロ	水洗施設	22基			22基
	46-イ	水洗施設	3基			3基
	46-ロ	ろ過施設	1基			1基
	46-ニ	廃ガス洗浄施設	11基	1基		10基
	74	好気性廃水処理装置	1基			1基
	74	水の処理施設	4基			4基
	71の4-イ	汚泥の脱水施設	1基			1基
	71の4-イ	汚泥の焼却施設	1基			1基
	15-イ	廃ガス洗浄施設(ダイオキシン) (焼却施設の一部)	1基			1基
	15-ロ	湿式集じん施設(ダイオキシン) (焼却施設の一部)	1基			1基
			164基	1基	0基	163基
排水量	通常 (変更前)	52436.4	最大 (変更前)	62,048.4		
	(変更後)	52,479.4 $m^3/日$	(変更後)	62,091.4 $m^3/日$		
排水量及び 負荷量の 増減		(変更前)	(変更後)	(増減)		
	排水量 ( $m^3/日$ )	62048.4	62091.4	43.00		
	COD負荷量 (kg/日)	831.09	823.18	-7.91		
	SS負荷量 (kg/日)	812.50	812.50	0.00		
	T-N負荷量 (kg/日)	565.62	564.60	-1.02		
	T-P負荷量 (kg/日)	7.18	7.19	0.01		
	ダイオキシン類負荷量(pg-TEQ/日)	13.6	13.6	0.00		
排水処理 施設の種 類及び 数	前処理施設(活性汚泥法)	1基				
	脱窒処理装置(活性汚泥法)	1基				
	好気性廃水処理装置(活性汚泥法)	1基				
	中和槽	11基				
	汚泥焼却炉	1基				
	活性炭吸着法汚水処理装置	4基				

(2) 特定施設の設置(変更)の理由及び概要

2期BPDA工場の廃止に伴い、特定施設が1基廃止となります。

特定施設 46-二 (廃ガス洗浄施設) 1基

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少(変らず)の場合は理由

No3排水口の排水量ですが、2期BPDA工場の廃止に伴い社外へ処理委託していた42m<sup>3</sup>/日増加、12期PI生活排水廃止に伴い2m<sup>3</sup>/日減少、4BF生活排水廃止に伴い5m<sup>3</sup>/日減少し、35m<sup>3</sup>/日増加します。

また、西機能品事務所の浄化槽追加によりNo5排水口の排水量が8m<sup>3</sup>/日増加します。

トータルで排水量が43m<sup>3</sup>/日増加し、汚濁負荷量は、COD、T-Nで減少しますが、T-Pでは微増します。

NO.3排水口	変更前	変更後	差異		増減
排水量	45280.9	45315.9	35.0	m <sup>3</sup> /日	増加
COD負荷量	697.33	689.34	-7.99	kg/日	減少
COD濃度	15.40	15.21	-0.19	mg/L	減少
窒素負荷量	507.15	506.09	-1.06	kg/日	減少
窒素濃度	11.20	11.17	-0.03	mg/L	減少
燐負荷量	6.35	6.36	0.01	kg/日	増加
燐濃度	0.140	0.140	0.000	mg/L	変わず
NO.5排水口	変更前	変更後	差異		増減
排水量	10262.6	10270.6	8.0	m <sup>3</sup> /日	増加
COD負荷量	117.50	117.58	0.08	kg/日	増加
COD濃度	11.450	11.449	-0.001	mg/L	減少
窒素負荷量	51.31	51.35	0.04	kg/日	増加
窒素濃度	5.0	5.0	0.0	mg/L	変わず
燐負荷量	0.50	0.50	0.00	kg/日	減少
燐濃度	0.05	0.05	0.00	mg/L	変わず
NO.1排水口	変更前	変更後	差異		増減
排水量	6504.9	6504.9	0.0	m <sup>3</sup> /日	変わず
COD負荷量	16.26	16.26	0.00	kg/日	変わず
COD濃度	2.5	2.5	0.0	mg/L	変わず
窒素負荷量	7.16	7.16	0.00	kg/日	変わず
窒素濃度	1.1	1.1	0.0	mg/L	変わず
燐負荷量	0.33	0.33	0.00	kg/日	変わず
燐濃度	0.05	0.05	0.00	mg/L	変わず
合計	変更前	変更後	差異		増減
排水量	62048.4	62091.4	43.0	m <sup>3</sup> /日	増加
COD負荷量	831.09	823.18	-7.91	kg/日	減少
COD濃度	13.4	13.3	-0.2	mg/L	減少
窒素負荷量	565.62	564.60	-1.02	kg/日	減少
窒素濃度	9.1	9.1	0.0	mg/L	変わず
燐負荷量	7.18	7.19	0.01	kg/日	増加
燐濃度	0.12	0.12	0.00	mg/L	変わず

注) 負荷量(kg/日)=最大排水量(m<sup>3</sup>/日)×通常水質(mg/L)×10<sup>-3</sup>

2. 施行規則第4条第1項の規定に関する事項

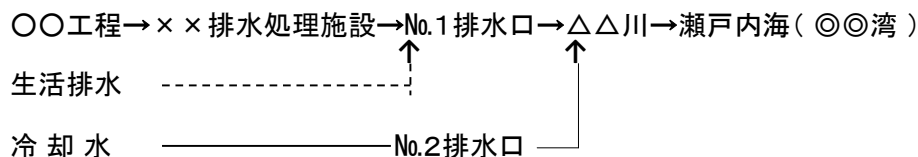
(1) 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

ア 排水口の位置 添付第 1 図のとおり

イ 排水口の数 13 カ所 (内 10カ所は雨水のみ)

ウ 排水系統及び水系図の略図 添付第 2 図のとおり

(例)



(2) 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

ア 水質汚濁に係る環境基準

(ア) 人の健康に係る環境基準

項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	ヒ素	総水銀	アリキル水銀	ポリ塩化ビフェニル	ジクロロメタン
基準値	0.003 mg/L 以下	検出されないこと	0.01 mg/L 以下	0.02 mg/L 以下	0.01 mg/L 以下	0.0005 mg/L 以下	検出されないこと	検出されないこと	0.02 mg/L 以下

項目	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン
基準値	0.002 mg/L 以下	0.004 mg/L 以下	0.1 mg/L 以下	0.04 mg/L 以下	1 mg/L 以下	0.006 mg/L 以下	0.01 mg/L 以下	0.01 mg/L 以下	0.002 mg/L 以下

項目	チウラム	シマジン(CAT)	チオペンカルブ(ペンチオカーブ)	ベンゼン	セレン	ほう素	ふっ素	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4ジオキサン
基準値	0.006 mg/L 以下	0.003 mg/L 以下	0.02 mg/L 以下	0.01 mg/L 以下	0.01 mg/L 以下	1 mg/L 以下	0.8 mg/L 以下	10 mg/L 以下	0.05 mg/L 以下

(イ) 生活環境に係る環境基準

排出先の河川・海域名		宇部・小野田海域			
環境基準点		UD-11	UD-12		
環境基準類型		C、Ⅲ	C、Ⅲ		
基準値	水素イオン濃度 ( pH )	7.0 ~ 8.3	7.0 ~ 8.3		
	生物化学的酸素要求量 ( BOD ) <i>mg/L</i>	—	—		
	化学的酸素要求量 ( COD ) <i>mg/L</i>	8以下	8以下		
	浮遊物質 ( SS ) <i>mg/L</i>	—	—		
	溶存酸素量 ( DO ) <i>mg/L</i>	2以上	2以上		
	大腸菌数 CFU/100mL	—	—		
	n-ヘキサン抽出物質 <i>mg/L</i>	—	—		
	全窒素 <i>mg/L</i>	0.6以下	0.6以下		
	全リン <i>mg/L</i>	0.05以下	0.05以下		

イ その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

(3) 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値並びに当該排水の1日当りの通常量及び最大量並びに当該排水の汚濁負荷量

(1/2)

排水口 番号又は 名称	区 分 項 目	現 状			設置(変更)後			負 荷 量 の 増 減
		通 常	最 大	※ 負 荷 量	通 常	最 大	※ 負 荷 量	
No.3排水口	排水量 m <sup>3</sup> /日	42,888.6	45,280.9		42,924.6	45,315.9		
	水素イオン濃度 (pH)	7.6	<sup>6</sup> ~ 9		7.6	<sup>6</sup> ~ 9		
	生物化学的酸素要求量(BOD)	—	—	—	—	—	—	—
	化学的酸素要求量 (COD)	15.4	44.0	697.33	15.2	44.0	689.34	-7.99
	浮遊物質 (SS)	16.0	25.0	726.11	16.0	25.0	726.11	±0.00
	全窒素 (T-N)	11.2	53.0	507.15	11.2	53.0	506.09	-1.06
	全 磷 (T-P)	0.14	0.3	6.35	0.14	0.3	6.36	+0.01
	ダイオキシン類	0.3	2.7	13.58	0.3	2.7	13.58	±0.00
No.5排水口	排水量 m <sup>3</sup> /日	9,547.8	10,262.6		9,554.8	10,270.6		
	水素イオン濃度 (pH)	7.5	<sup>6</sup> ~ 9		7.5	<sup>6</sup> ~ 9		
	生物化学的酸素要求量(BOD)	—	—	—	—	—	—	—
	化学的酸素要求量 (COD)	11.4	45.0	117.50	11.4	45.0	117.58	+0.08
	浮遊物質 (SS)	5.9	25.0	60.37	5.9	25.0	60.37	±0.00
	全窒素 (T-N)	5.0	50.0	51.31	5.0	50.0	51.35	+0.04
	全 磷 (T-P)	0.05	0.3	0.50	0.05	0.3	0.50	±0.00

※ 負荷量(kg/日)=最大排水量(m<sup>3</sup>/日)×通常水質(mg/L)×10<sup>-3</sup>

(3) 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常の数及び最大の数並びに当該排出水の1日当りの通常の数及び最大の数並びに当該排出水の汚濁負荷量

(2/2)

排水口 番号又は 名称	区分 項目	現 状			設置(変更)後			負 荷 量 の 増 減
		通 常	最 大	※ 負 荷 量	通 常	最 大	※ 負 荷 量	
No.1 排水口	排水量 m <sup>3</sup> /日	0.0	6,504.9		0.0	6,504.9		
	水素イオン濃度 (pH)	6 7	~ 9		6 7	~ 9		
	生物化学的酸素 要求量(BOD)	—	—	—	—	—	—	
	化学的酸素要求 量 (COD)	2.5	8.0	16.26	2.5	8.0	16.26	±0.00
	浮遊物質 量 (SS)	4.0	25.0	26.02	4.0	25.0	26.02	±0.00
	全 窒 素 (T-N)	1.1	6.0	7.16	1.1	6.0	7.16	±0.00
	全 磷 (T-P)	0.05	0.2	0.33	0.05	0.2	0.33	±0.00

※ 負荷量(kg/日)=最大排水量(m<sup>3</sup>/日)×通常水質(mg/L)×10<sup>-3</sup>

(4) 周辺公共用水域の水質の現況及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

ア 海 域

採水機関名	学校法人香川学園宇部環境技術センター	分析機関名	学校法人香川学園宇部環境技術センター
-------	--------------------	-------	--------------------

測 定 点 名		A-1(r/3)[海域B類型]								
採 水 年 月 日 及 び 時 間	区分	項目	水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
										第1回2026年 2月16日 7時52分 干満の別: 満潮
	中 層	11.7	8.2	2.6	3.0	0.38	0.021	8.8		
	平 均	11.6	8.2	2.7	3.0	0.40	0.021	9.3		
第2回 2月16日 10時55分 干満の別: 下げ潮	質 の 現	表 層	13.0	8.2	3.0	3.0	0.62	0.021	9.3	
		中 層	12.5	8.2	2.4	3.0	0.31	0.021	9.1	
		平 均	12.8	8.2	2.7	3.0	0.47	0.021	9.2	
第3回 2月16日 14時10分 干満の別: 干潮	況	表 層	13.1	8.2	2.9	3.0	0.45	0.021	10.0	
		中 層	13.3	8.2	2.5	3.0	0.39	0.024	10.0	
		平 均	13.2	8.2	2.7	3.0	0.42	0.023	10.0	
総 平 均			12.5	8.2	2.7	3.0	0.43	0.022	9.5	
将 来 水 質					3.1	3.5	0.77	0.028		

測 定 点 名		A-2(2r/3)[海域B類型]								
採 水 年 月 日 及 び 時 間	区分	項目	水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
										第1回2026年 2月16日 7時47分 干満の別: 満潮
	中 層	10.0	8.2	2.3	2.0	0.23	0.023	10.0		
	平 均	10.0	8.2	2.6	2.5	0.30	0.029	9.8		
第2回 2月16日 10時52分 干満の別: 下げ潮	質 の 現	表 層	12.5	8.2	2.9	3.0	0.56	0.020	9.3	
		中 層	10.6	8.2	2.5	3.0	0.23	0.026	10.0	
		平 均	11.6	8.2	2.7	3.0	0.40	0.023	9.7	
第3回 2月16日 14時07分 干満の別: 干潮	況	表 層	12.5	8.3	2.9	4.0	0.42	0.022	10.0	
		中 層	12.5	8.3	2.8	5.0	0.43	0.022	9.7	
		平 均	12.5	8.3	2.9	4.5	0.43	0.022	9.9	
総 平 均			11.4	8.2	2.7	3.3	0.37	0.025	9.8	
将 来 水 質					2.7	3.1	0.46	0.024		

測定点名		A-3( r 地点外縁)[海域B類型]								
採水年月日及び時間		項目		水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)
		区分								
第1回2026年	2月16日	水	表層	9.5	8.2	2.5	2.0	0.25	0.027	9.3
			7時42分	中層	9.5	8.2	2.4	3.0	0.19	0.022
	干満の別: 満潮		平均	9.5	8.2	2.5	2.5	0.22	0.025	9.2
第2回	2月16日	質 の 現 況	表層	11.4	8.2	2.6	2.0	0.31	0.021	9.1
			10時48分	中層	10.6	8.2	2.1	2.0	0.20	0.020
	干満の別: 下げ潮		平均	11.0	8.2	2.4	2.0	0.26	0.021	9.5
第3回	2月16日	況	表層	12.5	8.3	3.3	5.0	0.55	0.025	10.0
			0時28分	中層	12.1	8.3	2.8	4.0	0.60	0.023
	干満の別: 干潮		平均	12.3	8.3	3.1	4.5	0.58	0.024	10.0
総平均				10.9	8.2	2.6	3.0	0.35	0.023	9.6
将来水質						2.6	3.0	0.35	0.023	

(4) 周辺公共用水域の水質の現況及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の  
 化の程度

ア 海 域

採水機関名	学校法人香川学園宇部環境技術センター	分析機関名	学校法人香川学園宇部環境技術センター
-------	--------------------	-------	--------------------

測 定 点 名		B-1(r/3)[海域B類型]								
採 水 年 月 日 及 び 時 間	区分	項目	水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
			第1回2026年 2月16日 7時54分 干満の別: 満潮	水	表 層	10.5	8.2	2.6	3.0	0.40
中 層	9.8	8.2	2.4		2.0	0.21	0.021	10.0		
平 均	10.2	8.2	2.5		2.5	0.3	0.029	9.9		
第2回 2月16日 10時58分 干満の別: 下げ潮	質 の 現	表 層	13.0	8.2	2.7	3.0	0.29	0.025	10.0	
中 層		10.8	8.2	2.0	2.0	0.19	0.021	8.8		
平 均		11.9	8.2	2.4	2.5	0.2	0.023	9.4		
第3回 2月16日 14時13分 干満の別: 干潮	況	表 層	11.5	8.3	3.0	4.0	0.30	0.025	10.0	
中 層		11.5	8.3	3.1	5.0	0.28	0.024	10.0		
平 均		11.5	8.3	3.1	4.5	0.3	0.025	10.0		
総 平 均			11.2	8.2	2.6	3.2	0.28	0.025	9.8	
将 来 水 質					2.9	2.5	0.63	0.028		

測 定 点 名		B-2(2r/3)[海域B類型]								
採 水 年 月 日 及 び 時 間	区分	項目	水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
			第1回2026年 2月16日 7時58分 干満の別: 満潮	水	表 層	9.6	8.2	2.6	2.0	0.24
中 層	9.4	8.2	2.1		2.0	0.15	0.019	9.8		
平 均	9.5	8.2	2.4		2.0	0.2	0.0	9.8		
第2回 2月16日 11時09分 干満の別: 下げ潮	質 の 現	表 層	10.9	8.2	2.7	2.0	0.21	0.020	9.4	
中 層		10.2	8.2	2.2	1.0	0.16	0.020	9.2		
平 均		10.6	8.2	2.5	1.5	0.2	0.0	9.3		
第3回 2月16日 14時22分 干満の別: 干潮	況	表 層	10.3	8.3	2.8	3.0	0.21	0.032	10.0	
中 層		10.3	8.3	2.7	3.0	0.22	0.021	10.0		
平 均		10.3	8.3	2.8	3.0	0.2	0.0	10.0		
総 平 均			10.1	8.2	2.5	2.2	0.20	0.023	9.7	
将 来 水 質					2.5	2.1	0.30	0.025		

測定点名		B-3( r 地点外縁)[海域B類型]									
採水年月日及び時間		項目		水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
		区分									
第1回2026年	2月16日	8時01分	水	表層	8.9	8.2	2.2	2.0	0.18	0.021	9.8
				中層	9.0	8.2	1.9	2.0	0.14	0.019	9.0
				平均	9.0	8.2	2.1	2.0	0.16	0.020	9.4
干満の別:		満潮									
第2回	2月16日	11時10分	質 の 現	表層	10.6	8.2	2.5	1.0	0.20	0.021	10.0
				中層	10.3	8.2	2.4	1.0	0.17	0.020	10.0
				平均	10.5	8.2	2.5	1.0	0.19	0.021	10.0
干満の別:		下げ潮									
第3回	2月16日	14時31分	況	表層	10.3	8.3	2.7	3.0	0.20	0.025	10.0
				中層	10.1	8.3	2.6	3.0	0.27	0.035	10.0
				平均	10.2	8.3	2.7	3.0	0.24	0.030	10.0
干満の別:		干潮									
総平均				9.9	8.2	2.4	2.0	0.19	0.024	9.8	
将来水質						2.4	2.0	0.19	0.024		

(4) 周辺公共用水域の水質の現況及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

ア 海域

採水機関名	学校法人香川学園宇部環境技術センター	分析機関名	学校法人香川学園宇部環境技術センター
-------	--------------------	-------	--------------------

測定点名		C-1(r/3)[海域B類型]								
採水年月日及び時間	区分	項目	水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
										第1回2026年 2月16日 8時13分
干満の別: 満潮	中層	10.1	8.2	2.2	3.0	0.21	0.020	10.0		
	平均	10.1	8.2	2.4	2.5	0.26	0.021	10.0		
第2回 2月16日 11時01分	質 の 現	表層	11.4	8.2	2.9	2.0	0.24	0.022	11.0	
干満の別: 下げ潮		中層	10.4	8.2	2.5	2.0	0.19	0.022	10.0	
		平均	10.9	8.2	2.7	2.0	0.22	0.022	10.5	
第3回 2月16日 14時16分	況	表層	11.5	8.3	3.1	5.0	0.31	0.026	10.0	
干満の別: 干潮		中層	11.4	8.3	3.5	5.0	0.29	0.025	10.0	
		平均	11.5	8.3	3.3	5.0	0.30	0.026	10.0	
総平均			10.8	8.2	2.8	3.2	0.26	0.023	10.2	
将来水質					3.2	3.5	0.63	0.027		

測定点名		C-2(2r/3)[海域B類型]								
採水年月日及び時間	区分	項目	水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
										第1回2026年 2月16日 8:09
干満の別: 満潮	中層	9.5	8.2	2.1	3.0	0.17	0.020	9.7		
	平均	9.6	8.2	2.3	3.0	0.21	0.020	9.8		
第2回 2月16日 11:04	質 の 現	表層	10.1	8.2	2.2	1.0	0.15	0.018	10.0	
干満の別: 下げ潮		中層	9.8	8.2	2.1	2.0	0.16	0.021	10.0	
		平均	10.0	8.2	2.2	1.5	0.16	0.020	10.0	
第3回 2月16日 14:25	況	表層	10.1	8.3	3.1	3.0	0.29	0.044	10.0	
干満の別: 干潮		中層	10.2	8.3	2.6	3.0	0.22	0.032	10.0	
		平均	10.2	8.3	2.9	3.0	0.26	0.038	10.0	
総平均			9.9	8.2	2.4	2.5	0.21	0.026	9.9	
将来水質					2.8	3.1	0.30	0.024		

測 定 点 名		C-3( r 地点外縁)[海域B類型]								
採 水 年 月 日 及 び 時 間		区分	項目	水温(°C)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)
	8時05分	中 層	9.0	8.2	2.3	2.0	0.16	0.018	9.9	
干満の別:	満潮	平 均	8.9	8.2	2.4	2.0	0.16	0.0	9.8	
第2回	2月16日	現	表 層	10.9	8.2	2.8	2.0	0.22	0.023	9.6
	11時14分		中 層	10.3	8.2	2.2	6.0	0.18	0.020	9.2
干満の別:	下げ潮		平 均	10.6	8.2	2.5	4.0	0.20	0.022	9.4
第3回	2月16日	況	表 層	10.4	8.3	3.2	3.0	0.22	0.028	10.0
	14時35分		中 層	10.2	8.3	3.0	3.0	0.22	0.028	10.0
干満の別:	干潮		平 均	10.3	8.3	3.1	3.0	0.22	0.028	10.0
総 平 均				9.9	8.2	2.7	3.0	0.19	0.023	9.7
将 来 水 質						2.7	3.0	0.19	0.023	

イ 河 川

採水機関名				分析期間名						
水域・測定点名	項目		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	流量 (mg/L)	DO (mg/L)
	区分・日時									
	月	:								
		:								
	日	:								
	平均									
将 来 水 質										
	月	:								
		:								
	日	:								
	平均									
将 来 水 質										
	月	:								
		:								
	日	:								
	平均									
将 来 水 質										

ウ その他当該水域に関する事項  
なし

(5) 影響範囲及び予測の方法

- ア 汚濁負荷量の増加の有無 ((有)・無)  
(ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は、イ以下は省略する。)
- イ 排水水の公共用水域での影響範囲  
添付第3図

ウ 予測の方法

ア) 海域

(1) 新田式 ( $\text{Log} (r^2 \theta / 2) = 1.226 \text{Log} Q + 0.086$ ) から求めた周辺公共水域の外縁までの距離 ( $r$ ) は、1271 m です。

$$\begin{aligned} \theta &= 1.134 \text{ 拡散角度} \\ Q &= 62091.4 \text{ m}^3 / \text{日 (最大排水量)} \\ r &= 1272 \text{ m} \end{aligned}$$

(2) ヨーゼフ・ゼンドナー式  $\{ C = 1 - \exp( - \frac{Q_0}{\theta dp} ( \frac{1}{X} - \frac{1}{L} ) ) \}$

から求めた希釈率( C )は次のとおりです。

C(r/3 の地点) =	0.049
C(2r/3の地点) =	0.012
C( r の地点) =	0.000
( 注 ) Q <sub>0</sub> =	62091.4 m <sup>3</sup> /日 ( 最大排出量 )
θ =	1.134 拡散角度
d =	2 m
p =	864 m/日
	r                  2r/3                  r/3      の距離(m)
x =	1272.0                  848.0                  424.0
L =	1272 m ( rの距離 )

(3)  $S' = S_1 + ( S_0 - S_1 ) \cdot C$ から将来の水質を予測する。

S<sub>0</sub> = 排水口の排水濃度  
S<sub>1</sub> = r地点水質検査実測値

① A地点

A1 ( r/3の地点 )	424m
S' ( COD ) =	2.6 + ( 13.3 - 2.6 ) · 0.0486 = 3.134
S' ( SS ) =	3.0 + ( 13.1 - 3.0 ) · 0.0486 = 3.490
S' ( T-N ) =	0.35 + ( 9.1 - 0.35 ) · 0.0486 = 0.775
S' ( T-P ) =	0.023 + ( 0.12 - 0.023 ) · 0.0486 = 0.028
A2 ( 2r/3の地点 )	848m
S' ( COD ) =	2.6 + ( 13.3 - 2.6 ) · 0.0124 = 2.748
S' ( SS ) =	3.0 + ( 13.1 - 3.0 ) · 0.0124 = 3.125
S' ( T-N ) =	0.35 + ( 9.1 - 0.35 ) · 0.0124 = 0.458
S' ( T-P ) =	0.023 + ( 0.12 - 0.023 ) · 0.0124 = 0.024
A3 ( r の地点 )	1272m
S' ( COD ) =	2.6 + ( 13.3 - 2.6 ) · 0.0000 = 2.617
S' ( SS ) =	3.0 + ( 13.1 - 3.0 ) · 0.0000 = 3.000
S' ( T-N ) =	0.35 + ( 9.1 - 0.35 ) · 0.0000 = 0.350
S' ( T-P ) =	0.023 + ( 0.12 - 0.023 ) · 0.0000 = 0.023

② B地点

B1 ( r/3の地点 ) 424m

$$\begin{aligned}
 S'(\text{COD}) &= 2.4 + (13.3 - 2.4) \cdot 0.049 = 2.912 \\
 S'(\text{SS}) &= 2.0 + (13.1 - 2.0) \cdot 0.049 = 2.539 \\
 S'(\text{T-N}) &= 0.19 + (9.1 - 0.19) \cdot 0.049 = 0.626 \\
 S'(\text{T-P}) &= 0.024 + (0.12 - 0.024) \cdot 0.049 = 0.028
 \end{aligned}$$

B2 ( 2r/3の地点 ) 848m

$$\begin{aligned}
 S'(\text{COD}) &= 2.4 + (13.3 - 2.4) \cdot 0.012 = 2.518 \\
 S'(\text{SS}) &= 2.0 + (13.1 - 2.0) \cdot 0.012 = 2.137 \\
 S'(\text{T-N}) &= 0.19 + (9.1 - 0.19) \cdot 0.012 = 0.303 \\
 S'(\text{T-P}) &= 0.024 + (0.12 - 0.024) \cdot 0.012 = 0.025
 \end{aligned}$$

B3 ( r の地点 ) 1272m

$$\begin{aligned}
 S'(\text{COD}) &= 2.4 + (13.3 - 2.4) \cdot 0.000 = 2.383 \\
 S'(\text{SS}) &= 2.0 + (13.1 - 2.0) \cdot 0.000 = 2.000 \\
 S'(\text{T-N}) &= 0.19 + (9.1 - 0.19) \cdot 0.000 = 0.193 \\
 S'(\text{T-P}) &= 0.024 + (0.12 - 0.024) \cdot 0.000 = 0.024
 \end{aligned}$$

③ C地点

C1 ( r/3の地点 ) 424m

$$\begin{aligned}
 S'(\text{COD}) &= 2.7 + (13.3 - 2.7) \cdot 0.049 = 3.166 \\
 S'(\text{SS}) &= 3.0 + (13.1 - 3.0) \cdot 0.049 = 3.490 \\
 S'(\text{T-N}) &= 0.19 + (9.1 - 0.19) \cdot 0.049 = 0.626 \\
 S'(\text{T-P}) &= 0.023 + (0.12 - 0.023) \cdot 0.049 = 0.027
 \end{aligned}$$

C2 ( 2r/3の地点 ) 848m

$$\begin{aligned}
 S'(\text{COD}) &= 2.7 + (13.3 - 2.7) \cdot 0.012 = 2.781 \\
 S'(\text{SS}) &= 3.0 + (13.1 - 3.0) \cdot 0.012 = 3.125 \\
 S'(\text{T-N}) &= 0.19 + (9.1 - 0.19) \cdot 0.012 = 0.303 \\
 S'(\text{T-P}) &= 0.023 + (0.12 - 0.023) \cdot 0.012 = 0.024
 \end{aligned}$$

C3 ( r の地点 ) 1272m

$$\begin{aligned}
 S'(\text{COD}) &= 2.7 + (13.3 - 2.7) \cdot 0.000 = 2.650 \\
 S'(\text{SS}) &= 3.0 + (13.1 - 3.0) \cdot 0.000 = 3.000 \\
 S'(\text{T-N}) &= 0.19 + (9.1 - 0.19) \cdot 0.000 = 0.193 \\
 S'(\text{T-P}) &= 0.023 + (0.12 - 0.023) \cdot 0.000 = 0.023
 \end{aligned}$$

イ)河 川

$$S' = \frac{SQ + (S_0Q_0 - S_0'Q_0')}{Q + (Q_0 - Q_0')} \text{ から将来の水質を予測すると、}$$

地点名( )

$$S' (\text{BOD}) = \quad - \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{COD}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{SS}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{T-N}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{T-P}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

地点名( )

$$S' (\text{BOD}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{COD}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{SS}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{T-N}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{T-P}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

地点名( )

$$S' (\text{BOD}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{COD}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{SS}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

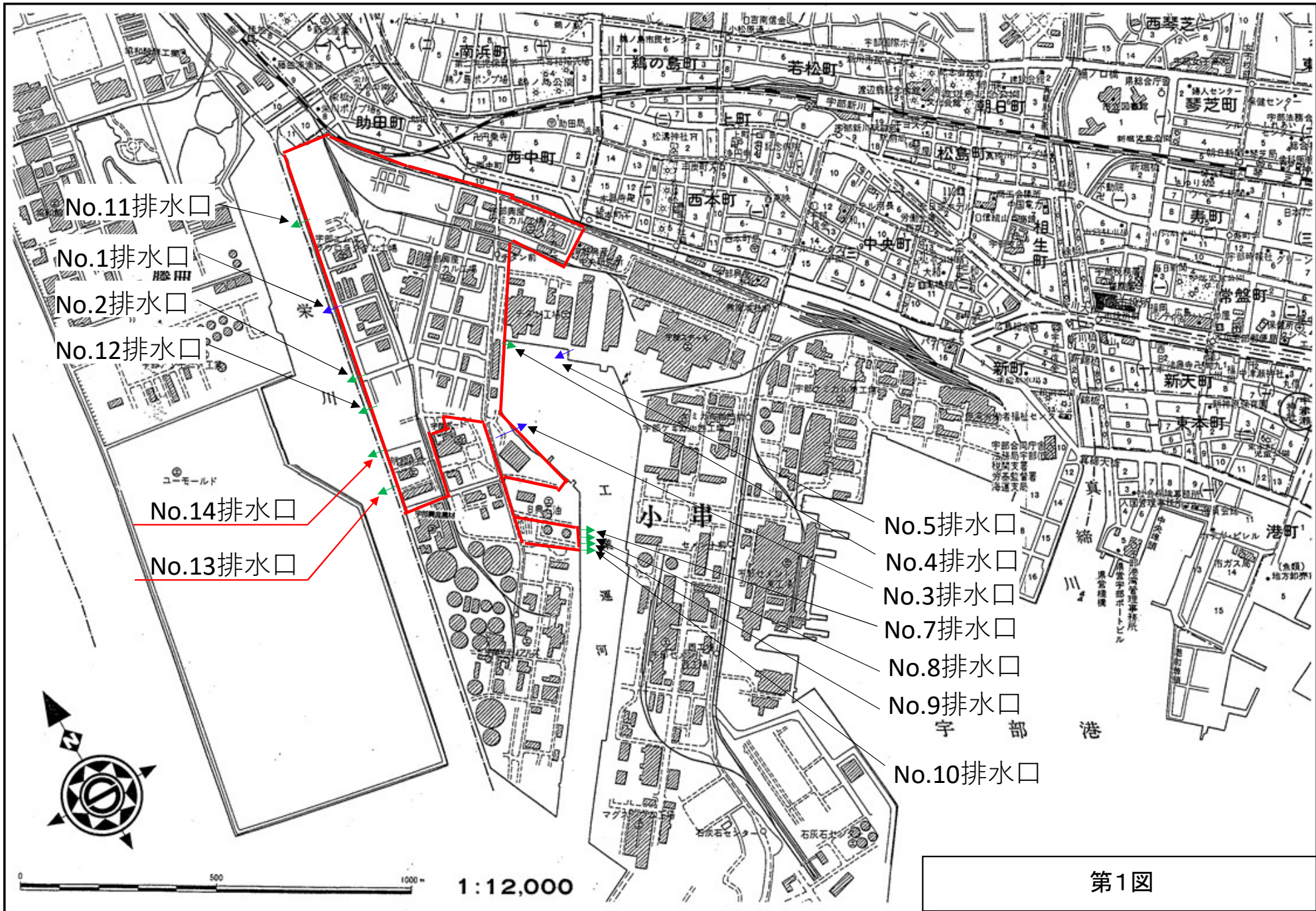
$$S' (\text{T-N}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

$$S' (\text{T-P}) = \quad + ( \quad - \quad ) =$$

(6) その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項

T-P負荷量が微増しますが、他工場を含め排水管理に努め環境への影響を最小限に抑制します。

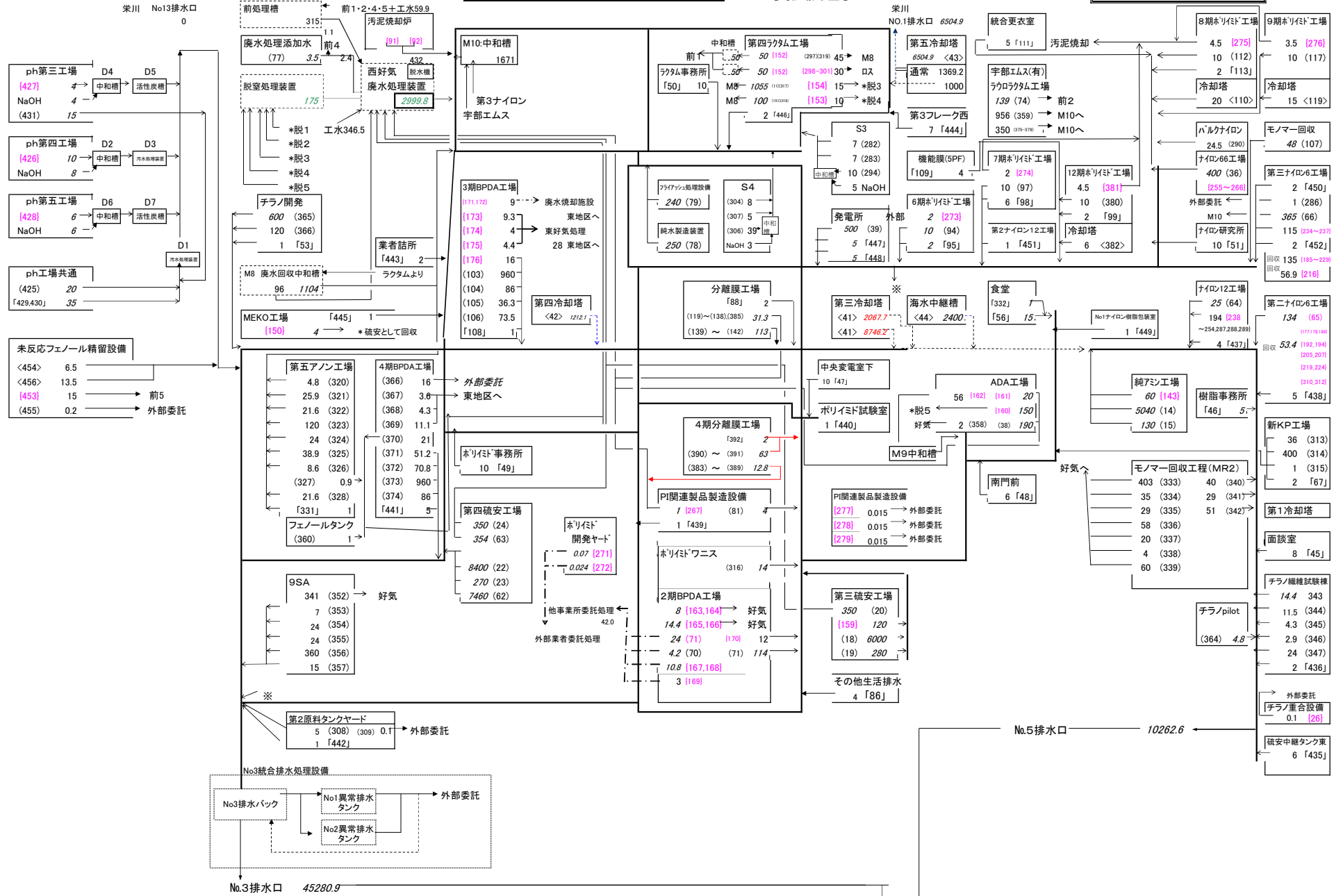
	(変更前)	(変更後)	(増減)	備考
排水量 (m <sup>3</sup> /日)	62048.4	62091.4	+43.0	増加
COD負荷量 (kg/日)	831.1	823.2	-7.91	減少
SS負荷量 (kg/日)	812.5	812.5	±0.00	増減なし
T-N負荷量 (kg/日)	565.6	564.6	-1.02	減少
T-P負荷量 (kg/日)	7.2	7.2	+0.01	増加
ダイキシン類負荷量(pg-TEQ/日)	13.6	13.6	±0.00	増減なし



第1図

第2図

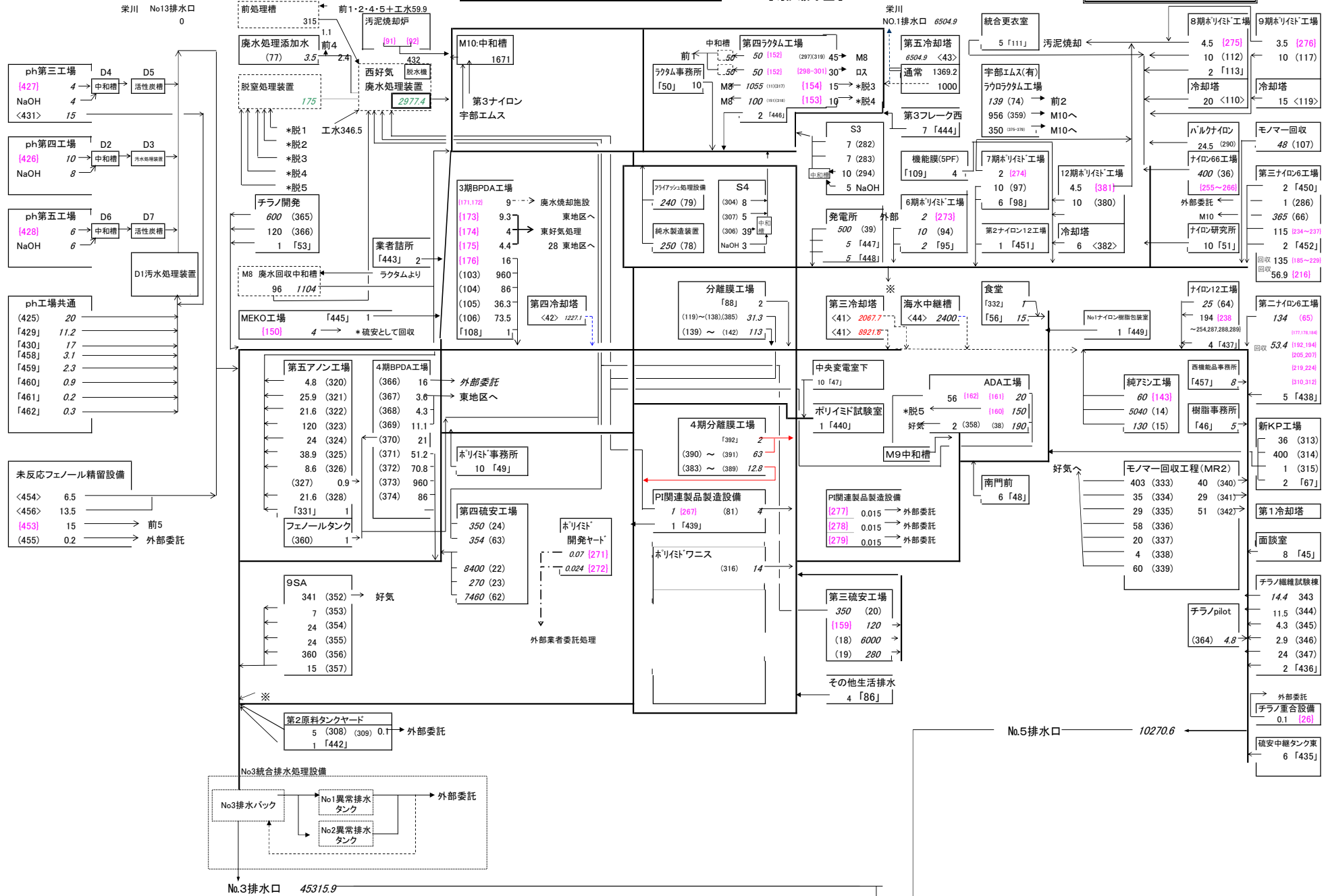
No.3 ~ No.5 排水系統図 (変更前) [最大排水量]



凡例 斜数値: 排水量(m<sup>3</sup>/日)・通常値  
 ( )内: 特定排水番号  
 [ ]内: 特定排水番号  
 < >内: 非特定排水番号  
 汚水処理施設  
 工場外で処理  
 工業運河  
 瀬戸内海 (宇部・小野田海域)

第2図

No.3 ~ No.5 排水系統図 (変更後) [最大排水量]



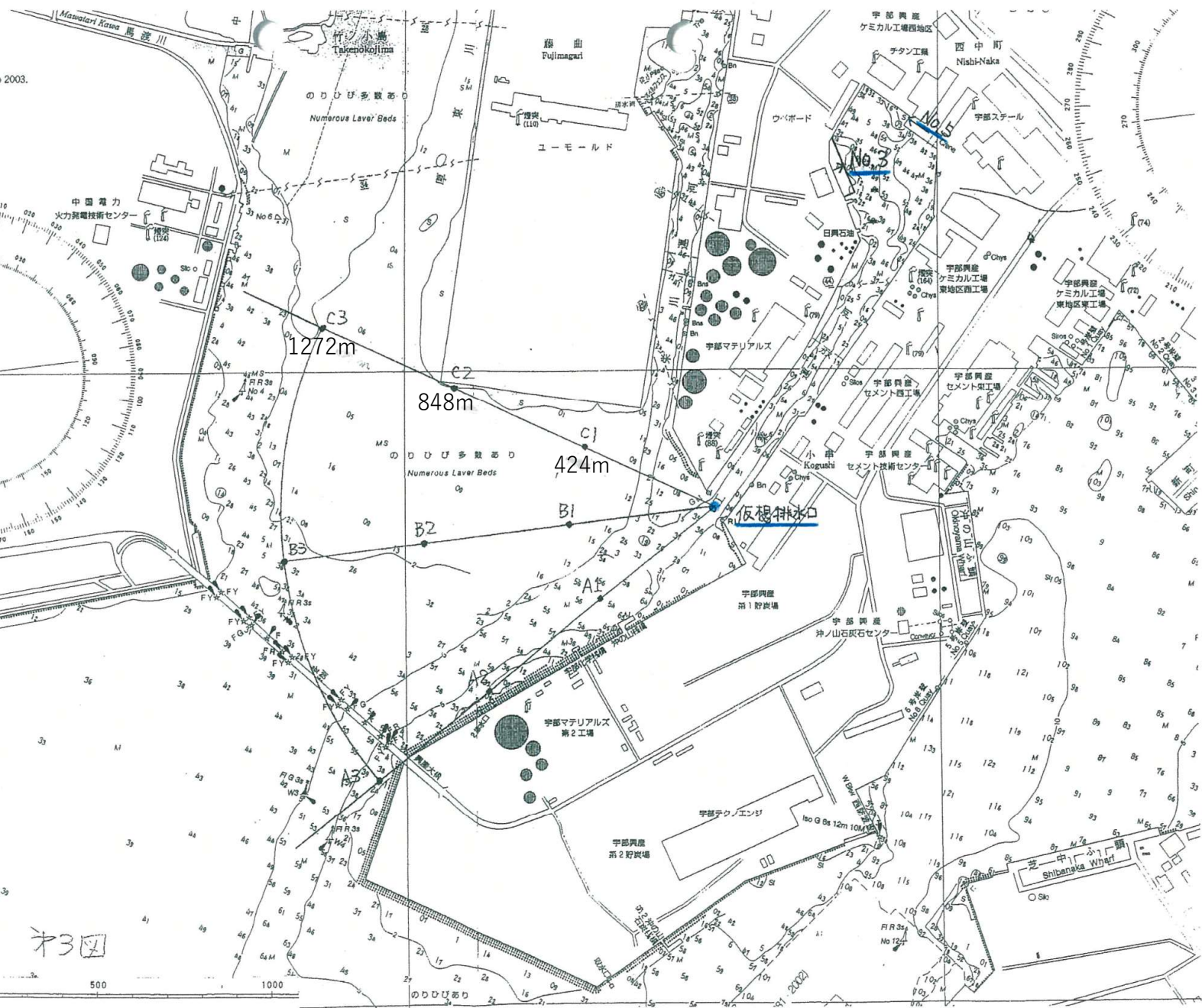
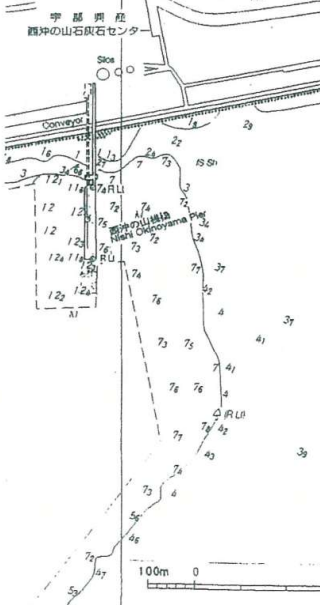
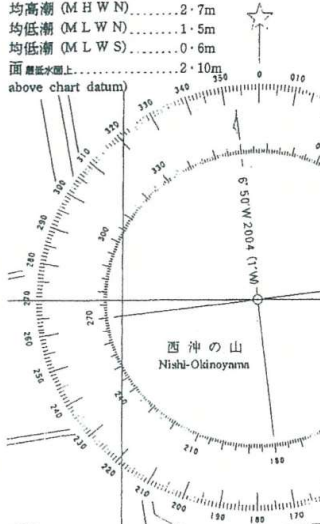
凡例 斜数値: 排水量(m<sup>3</sup>/E)・通常値  
 ( )内: 特定排水番号  
 [ ]内: 特定排水番号・特定施設  
 「」内: 特定排水番号・生活排水  
 < >内: 非特定排水番号  
 汚水処理施設  
 工場外で処理  
 工業運河  
 瀬戸内海 (宇部・小野田海域)

s are above Nearly Lowest Low Water :  
 a clearances and such others are above  
 at High Water

WGS-84

phic and Oceanographic Department, J.C.G. to 2003.  
 right figures are taken from smaller scale charts.

- 均高潮 (M H W S).....3.6m
- 均高潮 (M H W N).....2.7m
- 均低潮 (M L W N).....1.5m
- 均低潮 (M L W S).....0.6m
- 面高水面上.....2.10m  
 above chart datum



## 海域における外縁までの距離

変更前

	Q(流量)	$\theta$ (角度)	r(m)
No. 3	45280.9	3.14	629
No. 5	10262.6	1.57	358
No. 1	6504.9		
統合排水	62048.4	1.134	1271

変更後

	Q(流量)	$\theta$ (角度)	r(m)	増減
No. 3	45315.9	3.14	630	1
No. 5	10270.6	1.57	359	0.17
No. 1	6504.9			
統合排水	62091.4	1.134	1272	1
増加水量	43.0			

新田式  $\log(r^2 \theta / 2) = 1.226 \log Q + 0.086$

統合仮想排水口

工業運河出口中心

